

会議録

会議の名称	令和8年度第10回西東京市立保谷第一小学校建替協議会
開催日時	令和8年8月19日(水曜日)午前10時00分から
開催場所	防災センター 6階会議室
出席者	【委員】 原会長、高橋副会長、萩原委員、吉村委員、阿部委員、笹森委員 牛村委員、倉内委員、伊藤委員、藤江委員 (欠席) 服部委員、中野委員 【事務局】 飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 浅水教育企画課企画調整係主査、記内教育企画課企画調整係主事 木藤教育企画課企画調整係主事 【傍聴人】 3人
議題	議題1 会議録について 議題2 新校舎の規模・敷地内配置について 議題3 その他
会議資料の名称	資料1 保谷第一小学校施設配置比較表 資料2 保谷第一小学校平面プラン(B案・C案)
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
<開会> 議題1 第9回会議の会議録について 第9回会議の会議録内容について、各委員に異議がないことを確認し、承認。 議題2 新校舎の規模・敷地内配布について ○事務局 (資料1、2について説明) ○会長 事務局より説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。 ○委員 B案について、ランチルームと家庭科室が昇降口に隣接しており、火災時の避難はしやすい一方、砂埃等が入りやすいのではないかと思います。 2階の職員室や校長室等が敷地東側にあるが、校舎内の西側に配置されているため、西日が入って仕事がしづらくなる印象を受けた。 2階にエンカレッジルームがあるが、普通教室と近い位置に配置されているため、目的に沿わないのではないかと。また、他の児童たちと同じ動線になってしまう可能性があるのではないかと。 4階の図工室、音楽室、理科室について、図面上の印象では、廊下が入り組んでいて	

少し歩きにくいような印象を受ける。

東側校舎について、3階に学童クラブを挟んで、2階と4階に児童が使う教室が配置されているが、学童クラブへの出入りはどのように行う想定なのか。

P T A室・運営協議会管理室と児童の動線が重なっているが、できれば別にした方がよいと思う。部屋の位置関係について少しご検討いただければと思う。

資料1を見ると、C案の方がメリットが多いように思える。しかし、資料2を見ると、昇降口の幅が狭くなっており、学年ごとに分けるのかもしれないが、開口部が狭いと児童が殺到した時に危ないのではないかと感じた。

C案では、理科室と音楽室が同じフロアにあるが、理科の授業時に音を聞くような実験を行う際に、音楽室が近いと実験が妨げられてしまうのではないかと感じた。

また、特別支援教室が音楽室と理科室の間にあるが、音楽室や理科室は必ず児童の移動を伴い、また、音楽室では音が出るので、特別支援教室の児童が落ち着かないのではないかと感じた。

学校図書館と視聴覚室が一体的に利用できるのは、メディアルームのような使い方ができてよいと思う。

地域と学校、共用施設との分離が段階的に綺麗にできるので、部屋の配置としてはとてもよいと思う。

エンカレッジルームと教育相談室が、他の児童が使うスペースと離れている点もよいと思う。

P T A室・運営協議会管理室も児童と離れたところで仕事をするような形になるのでよいと感じた。

各階の南側トイレの脇にロビーのようなスペースがあるが、採光の用途でつけているのか、他に想定されている用途があれば教えていただきたい。

○事務局

B案の学童クラブへの出入りの方法については検討中である。ただし、基本的には学校から学童クラブへ直接行くのではなく、一度靴を履き替えて外から回って入ることを想定している。そのため、今後学童クラブの入口については、複合施設のどこかで確保する必要があると考えている。

C案のロビーのようなスペースについては、明確な用途は決まっていない。給食の配膳スペース等としての用途が考えられるが、現時点では必要諸室を単に配置したなかでの余剰スペースである。

○会長

資料1を見ると、地域の施設と学校施設は完全に分離されていてセキュリティ上も分離されているように見受けられる。しかし資料2を見ると、B案においては3階部分でのみ、C案においては2階部分でのみ学校と学童が接続しているように見えるが、それでも一度靴を脱いで外に出て、また学童に行くということによろしいか。

○事務局

運用方法によっても大きく変わってくると思う。現時点では、特別な配慮が必要な児童については学校から直接行けるようにする必要があると考えているが、基本的に学童クラブについては、一度靴を履き替えて外から行く、外靴を持って行くなど様々な方法が考えられるので、今後の運用の中で検討していきたいと考えている。

○会長

物理的には接続しているということか。

○事務局

現時点ではそのようになっている。

○委員

このプランでは内部の部屋の細かい取り合い等は、暫定的なものであると認識しているが、全体の配置についていくつか意見と質問がある。

一つ目が、緑色で示している地域の方が利用するスペースについて、C案では住宅地側の門から入る動線になっている。しかし、アクセス性を考えたときに、遠方からバスを利用して表通りから来る方が多いのではないかと思われ、その面ではB案の方が有利ではないかと思う。

B案、C案に共通して、昇降口から二階以上の教室に上がる動線はどう考えているか。現状、通常の階段が廊下の両側にあるが、登校時などは恐らく幅員が足りないと思われる。また、一足制にすることで動線が自由になり、昇降口の面積を節約できるというメリットがあるが、検討しているか。

学童クラブについて、面積はこの図のとおりでほぼ間違いないのか。かなり大きい印象を受ける。また、学童は割と屋外で遊ぶことが多い気がする。全ては難しいかもしれないが、隣接している方が良いのではないかと思う。2階と屋外のつながりはどのように検討しているのか教えていただきたい。

必要面積を反映した図面という前提ではあるが、これから学習指導要領が変わり、タブレットが導入されている中で、教室周りの作りはこれで良いのか。既存の学校でも、教室からタブレットを持って外へ出ていくような光景はよく見かけるようになっており、違う形を検討しても良い。

以前、市内の既存校を全部見させていただいたことがあるが、碧山小学校とけやき小学校が、オープンスペースがあるタイプの作りである。また、本町小学校はこのプランに近く、凸型の多目的スペースがある。他には余裕教室と多目的室を転用している学校もある。

タブレットを一人一台所持するようになり、授業の方法がこれまでと変わった今、市内の学校でそれらをどのように使っているのか、現状をリサーチして資料に反映させても良いのではないかと思った。

○事務局

一足制の検討について、現時点では検討は行っていない。ただし、都内の学校で一足制を導入していることは認識しており、また、実際の運用方法については調査している。

また、委員からも昇降口の幅が狭いのではないかというご意見をいただいたが、一足制の導入が、解決方法の一つになることは認識をしている。いただいたご意見を踏まえ、検討していきたい。また、タブレットの使い方に関しても、いただいたご意見を踏まえ、市内の状況等を確認していきたいと考えている。

○事務局

学童クラブと屋外とのつながりでは、現状の学童クラブの配置については、この資料ではあくまで単に配置しただけの案であり、今後、所管となる児童青少年課とも検討していきたいと考えている。ただ、お迎えに来る保護者もいらっしゃる場合があるので、そういったところも含めて、先ほど説明した通り、中からだけでなく外からも出入りできるようなことを想定している。複合施設部分にエレベーターを設置するのか、階段のみにするのかというところは今後の検討となる。

教室の使い方についても普通教室、多目的スペースや少人数の教室など、面積に応じて四方を囲んでいる状況である。今後、多目的スペースや少人数教室の使い方、壁をどうするのか、学校図書館と視聴覚室の一体的な利用、オープン型のスペースなど、そういった部分は引き続き検討していく。

○事務局

前回の会議で、諸室の配置が視覚的に確認できないというご意見をいただき、今回、教室等を配置して平面図の方を作成した。細かい部分については担当職員からも説明があった通り、検討する必要がある。

最初にご質問いただいた地域のスペースの動線については、アクセスはバス通りの方が多くあるのではないかとこのところ、出入り口についても仮で図面に落とさせていただいているが、実際にこれから動線の計画を決める際には、出入口についても、学校関係者だけで使う門を作るのか、地域の方と同じ門を使うのか、その場合にはセキュリティをどうするか、都内の方では守衛の方を置いている事例もあるので、その辺はこれから検討が必要だと思っている。

最後にご意見いただいた市内の学校のリサーチについて、市内にはいろいろな学校があり、当初学校を建設した時から何十年と経っており、時代も変わり、当時はまだ合併をする前、旧田無市と旧保谷市でそれぞれの建て方があり、旧保谷市では小規模校と言われるような、近いところだと東小学校などがそのような建て方をしていると思われる。保谷第一小学校もそれに近い建て方で、蜂の巣校舎などもあり、かなり特徴的な学校が点在しているが、現在、特別支援学級の増加などもあり、当初建てた時よりだいぶ様子が変わり、先生方のお話にもあったが、諸室を当初の目的と異なる用途で使用するなど、学校には負担をかけてしまっているというところがある。保谷第一小学校は、市内で複数の公共施設を複合化して建替えを行う最初の小学校であり、新しい学習指導要領なども踏まえて、細部を検討した上で、来年度から設計に入っていきたいと考えている。

○委員

計画的に建て替えていくので、今までの古い建物も含めて、市内で取り組んでいる教育の蓄積を保谷第一小学校に活かし、その次の学校の建替時には保谷第一小学校での経験を活かしていくというようなサイクルを作ると良いのではないかと。

学童については屋外へのアクセス面だけではなく、子どもが外気に触れるとか、屋外に出やすいという観点も含めてなので、デッキを使用するなど、様々な工夫が必要かと感じた。

地域施設のアクセスの部分については、動線の分け方以外に、一番人が来る表側にあった方が、施設の顔としても適切なのではないかと趣旨の発言であった。

○委員

B案について、1階に「職員室（シャワー室控え含）」というのがあるが、東側の地域交流・地域開放利用の部分が出来るまでは、ここが職員室になる予定ということか。

地域開放利用の部分が出来上がるまでの間は、学校としての施設の部分、例えば校長室、事務室、放送室、会議室等や図工室等の特別教室は、他の空いている教室を利用する予定か。

各施設について、2階と4階だけが学校と接続しており、学童クラブは基本的に外から入ってもらい、1階の相談窓口等の地域開放利用の施設は校舎とは接続していないという認識でよいのか。

また、階段の利用だけになるのか、エレベーターを設置する予定はないのかを確認をしたい。

C案について、階段やエレベーターの設置については今後検討されるということでしょうか。

給食室について、B案とC案で差があるように見えるが、その辺りの考えを伺いたい。

○事務局

南側に配置される赤茶色部分の職員室については、今ある通常級の職員室とは別に新設される特別支援学級の教職員が使用する職員室である。その間、通常級の職員室については、B案の場合、蜂の巣校舎が一時的に職員室になることが想定される。その後、東側に校舎ができた段階で、蜂の巣校舎の職員室が東側の地域利用棟の2階部分に移動される。

複合施設部分について、B案、C案ともに、基本的に学童クラブ以外は全て1階に配置しているため、トイレやエレベーターをどうするのかは今後検討していく。ただ、要配慮の方もいるので、運用上、校舎のエレベーターを使うのか、複合施設にエレベーターを設置するかは、今後検討していきたいと考えている。

給食室の幅について、B案は1階部分にすべて収まっており、C案は1階部分と2階部分の体育館西側に、休憩室と更衣室を給食室の面積としている。C案の1階と2階の給食室の面積を足し合わせると、B案の給食室と同じ広さになるが、現在、給食の所管部門で、設備や動線等を検討しているため、面積については精査していきたいと考えている。

複合施設棟と南側校舎の接合部分においては、1階部分についてはピロティのような形で複合施設棟と南側校舎は離れている。2階以上については接続されており、学童クラブへ行くことはできるが、セキュリティ対策を考えている。職員室等がある2階と図工室等がある4階については、動線として接続されている。

○委員

現状、体育館にはトイレがあったはずだが、今回計画されてないのか。

マンホールトイレはどこに設置する予定か。

○事務局

体育館のトイレについては、現時点でこの平面図上に落とし込んでいないが、配置していきたいと考えている。

マンホールトイレについてはB案を例に挙げると、既存の位置が旧体育館の前あたり

にあるため、屋外倉庫等と若干被ってしまう部分があるが、既存のマンホールトイレを活用していきたいと考えている。

○委員

現在のマンホールトイレの部分を利用するという考え方か。

○事務局

お見込みの通りである。

○委員

かなり体育館から離れるという印象を受ける。また、それに伴い、プールに代わる防火水槽はどの辺りにくるのか。

今日、公園等が整備されるに当たって防火設備が設置されている。泉小わくわく公園のように、太陽光の照明を使ったもの、パーゴラ、トイレを椅子にして日常的に使うような設備がある。何度かマンホールトイレの設置訓練をしたが非常に大変であった。枠だけでも重く、そもそもどこに備蓄しておくのかということもあるが、平時も使用でき、災害時も簡単に設置ができるような機能は考えられないのか。

また、校庭に椅子を置くという発想自体が良いのか悪いのか私はよくわからないが、これからどんどん猛暑になるので、パーゴラのように児童が一時的に避難するような屋根のある場所やすぐ設置できるようなものを考えておく必要があると思う。

防災対策に関しては後付けだと費用がかかるうえに、小学校が避難所になるということは今後も変わらないと思う。この多発する自然災害に対応していくために、最初からそういった機能もつけておいた方が良いと考える。

○事務局

マンホールトイレについては、危機管理課と意見交換をしている。

先日も国内で大きな地震が起こり、様々な困難や支障が出ている。日本は災害対策が他国に比べて遅れているという話を伺っている。来年度は設計に入っていくため、専門部署と意見交換し、今いただいたご意見も踏まえながら検討していきたいと考えている。

○委員

防災備蓄倉庫については、体育館が2階にあるのでそれに伴って設置していただいているが、定期的に物の入れ替えが発生する。その際、危機管理課ではなく業者が入ってくると聞いているが、業者の搬入ルートも考慮していただきたい。

体育館が2階になるのはもうやむを得ないと思っているが、体育館からマンホールトイレが非常に遠いのは防犯上の面からも考慮して頂きたい。

○事務局

防火水槽については、現在プールの西側に 40 立方メートルの防火水槽が配備されている。マンホールトイレ利用時には、地域防災計画上、防火水槽や敷地の東側にある震災用井戸から水源を取り、災害時等にはその水源を利用することを想定している。

○副会長

資料１で整理されたので、図面等を見ると、Ｃ案にメリットが多いことがわかる。

Ｂ案について、仮で蜂の巣校舎を使う際に職員室が配置される。教育活動を行う際に、教室と職員室が離れているということはデメリットだと思う。資料１にも簡単に記載はされているが、教育活動を考えた時にはより影響が大きいと感じる。

資料２で気になった点は、複合施設の駐車場が校庭の東に来るということである。児童が校庭で活動している時間は様々あるため、やはりこの場所に駐車場を整備するのはあまり適切ではないと思う。別の場所に整備するほうが望ましいと感じた。

ただ、先ほど委員からも意見があったが、Ｂ案は伏見通りからの動線がスムーズだと思う。現状の正門は西側にある門だが、建替時にそこを正門にするのであれば、Ｂ案の方が動線としては良いものができると思った。

一方で４階の図工室、音楽室、理科室が隣接している部分について、先ほど委員からの意見でもあったが、この配置にしてしまうと、児童が授業を受けるために移動する際の動線が窮屈になる。３つの教室に様々な学年の児童が一斉に移動することを考えたときに、その３教室を隣接して配置することは、教育活動上あまり望ましくないと感じた。災害時においても、その３教室に児童がいた場合、避難が困難になると思う。屋上があるため、屋上を一旦逃げ口にしてという考え方があるが、その場合は外側階段を設置しなければならないと思う。

Ｃ案については、Ｂ案の図面においても言えることだが、校庭を教職員が見やすいかどうか非常に重要であると思っている。児童が怪我をした際など、校庭から職員室へのアクセスを考えた時に、Ｃ案の様に１階に職員室を配置することは良いと思う。しかし、現案の職員室の場所では校庭が少し見づらいと感じる。もし、配置の決定がこれからののであれば、特別支援学級の位置に職員室等の管理諸室を配置した方が、校庭への視認性が確保される。本来であれば校庭が横長にあり、それに相対する形で職員室などが配置されれば一番視認性が確保されるが、現状この配置だと対応しづらい。また、職員室の北側には階段があり、窓がないため、西門から入ってきた人たちの様子を職員室から見るができず、校庭に入ってくるまでわからない。その点もセキュリティ上あまり良い形ではないと感じた。同じことが東門においても言える。伏見通りから入ってきた人が、校舎の南側を通り昇降口へ入る場合は警備室等があるため良いが、そうでない場合には、いきなり校庭にアクセスできてしまうのでセキュリティ上望ましくない。もし、職員室がＣ案の特別支援学級の場所に配置されれば、そこを通る人たちの姿も見ることができ、安全上配慮も可能であると感じた。

配置についてはこれから決めていくという事は重々承知しているが、そういった意見も含めて職員室の配置について検討いただけると、教職員にとってより使いやすく、児童にとっても安全で安心できる配置になると思う。

また、学童クラブの上には施設が整備されないため、屋上を学童クラブに通う児童が遊ぶスペースとして職員の管理の下で運用できるようにするのはどうか。屋上として整備すれば、児童の遊ぶスペースとしてだけでなく、運動会等の催し物を実施する際に保護者用の観客席として開放することもできると思う。屋上の整備には費用がかかるが、他に施設を配置する予定が無いのであれば、様々な用途で利用できるのではないかと感じた。

○事務局

配置についてはこれから検討していくことになるが、頂いた貴重なご意見を踏まえて

検討を進めていく。

○委員

図面上で地域包括支援センターの近くにある駐車場は来客用か。地域包括支援センターも車を所持しているはずだが、専用の駐車場は設けるのか。

先ほど高橋副会長からも意見として出たが、B案では地域包括支援センターの駐車場が校庭の東側中央寄りに位置しており、校庭との境目が無いように見受けられる。ボール等が飛んでくることも考えられるので、フェンスなどを設置すると良いと思う。

○事務局

駐車場の数、場所については、地域包括支援センターの職員用と来客用を複数用意しており、図の配置のとおりである。

赤色の点線で示している動線分離（セキュリティ）については、現時点ではフェンスにするのかブロックにするのかというような仕様は決まっていないが、何らかのセキュリティ対策を考えていきたい。

○委員

来客用と職員用を併せてこの駐車場の数なのか。

○事務局

お見込みの通りである。

○委員

資料1のB案について、複合施設出入口側の道路は、住宅街で幅員が狭いうえに一方通行のため危険ではないか。また、苦情が出ることも考えられる。南東側からの動線が良いのではないか。

C案の複合施設と校舎の間はピロティのようになっているのか。

校庭内に大型車が入ることを想定して幅員が取られているか。

○事務局

北側道路への配慮について、基本的に地域の方々は自転車または徒歩での来場を想定している。車椅子等を必要とする方が車で来場し北側の動線から入ることは、例外的な対応であると考えている。

C案のピロティ部分については、2階部分のみ接続されている。

校庭への動線については、大型車の車幅を約2.5メートル程度と想定しており、外構工事の際に歩道や植栽等を検討する必要があるが、大型車が通行できるように動線部分の配慮をしていきたいと考えている。

○委員

ピロティについては、休日に学校施設を開放する際、日陰の休む場所が欲しいという意見があったので、ご配慮いただきたい。

○事務局

委員からご質問いただいた、地域包括支援センターの駐車場の台数については、現時

点では地域包括支援センターと具体的な話ができていないため、今後調整をしていきたいと考えている。

○会長

校舎内の具体的な諸室の配置等については今後検討していくと事務局より説明があった。配置の比較という観点で、B案とC案の配置計画全体を見た場合、ここまでの話を聞いていると、比較的メリットが多いのはC案であるという意見が多いと感じるが、B案とC案の比較について、他にご意見はあるか。

○副会長

これまで議論を重ね、様々な意見を出してきたが、それぞれメリット・デメリットがあると思う。協議会の委員としても概ね意見を出し合えたと思っている。費用や期間など、市としての様々な検討事項があると思うので、これまで出た意見を尊重していただきながらご検討いただきたい。この場で建替協議会としての答えを決めるものではないと思っている。

○事務局

これまで複数の公共施設を学校に複合化して建替えをした事例がなく、図面で可能な限り説明をしているが、この場でどちらかの案に決めるのは難しいと考えている。とはいえ、どちらかの案に決めていただかなければならないので、この会議が終わった後、資料を読み込む時間を1週間程度取らせていただき、お気づきの点等があればメール等でご連絡いただきたいと思っている。

○委員

配置案の決め方について、候補の中からどちらを選ぶか、あるいは候補にはない別の案に決めるか、それも含めてプロポーザルに提案を求めるケースを見てきたが、そのような方法は考えているか。つまり、「市としてB案とC案についてここまで検討していて、どちらかを元に提案をせよ」のような公募の仕方もあると思うが、どうお考えか。

○事務局

来年度から設計に入るが、業者の選定方法については、入札かプロポーザルの二択であると考えている。プロポーザルと決まっているわけではないが、プロポーザルとした時に、委員がおっしゃるように、幅を持たせてご提案をいただくことも一つの方法として考えている。

今年度からコンサルティング業者の支援のもと、保谷第一小学校の基本構想・基本計画に関して検討を進めており、事務局としては、平面計画の検討を今年度しっかりと進めていきたいと考えている。次年度に設計業者をプロポーザルで選定、もしくは今年度の平面計画の検討状況に応じて、入札で業者を選定することも考えている。施設配置等を決定するにあたって、建替協議会の委員の皆様からご意見を頂戴したいと考えている。

○委員

そういう全体計画であれば、建替協議会でどちらかに決めたいという意図は理解できる。入札で設計業者を決める場合は、教育委員会が積極的に要望・提案していくように

しなければいけない。クリエイティビティが事務局に求められるということを念頭に置いていただければと思う。

○会長

配置の方向性を決めるにあたり、当然スケジュールがあると思うが、本日の建替協議会の中である程度方向性をクリアにしていくのが良いのか、先ほど課長がおっしゃったように1週間程度時間を置き、その後、出た意見を踏まえて、次回会議で方向性を決めていくのではどちらがよいか。

○事務局

ご意見を頂戴していくにあたり、今この場で方向性を決定しなければならないというものではない。教育企画課長が申し上げたように、1週間ほど資料を読み込む時間を取らせていただき、その後の流れについては事務局よりご案内させていただく。

建替協議会としての意見のまとめ方は、会長とご相談をさせていただければと思う。

○会長

建替協議会としての方向性を決めていくことは理解した。いつまでに決定するかは検討をさせていただく。

他にご意見はあるか。

○委員

以前の建替協議会で、地域との連携を強めるためには、地域の方が使える部屋が必要だというご意見があった。特別教室以外でそれに該当する部屋は、PTA室と運営協議会管理室の2部屋のみか。地域交流室のような部屋が必要ではないかという意見だったかと思うが。

○事務局

C案だと、西側にある複合施設のなかで「相談窓口交流スペース」と記載されている部分の交流スペースが該当の部屋になると認識している。

○委員

そこで地域の団体の方が作業や打ち合わせを行えるのか。

○事務局

詳細については決まっていないが、地域の方が自由に利用できる場所にしていきたいと考えている。

○委員

武蔵野プレイスの最上階のようなイメージか。

○事務局

そういった形も考えられる。

議題３ その他

○事務局

議事録については、後日メールで送付させていただきます。

B案、C案について意見聴取をさせていただきたいと考えているので、ご案内させていただきます。

次回、第 11 回会議については、日程を調整させていただき、決定次第ご連絡させていただきます。

○委員

第 8 回建会協議会で年間スケジュールをいただき、今回の第 10 回会議では、「子ども教職員アンケートの実施について」というのが設けられていたが、これについては今後行っていく予定なのか。

○事務局

当初、保谷第一小学校に通う児童や教職員に対し平面計画を示し、それに対して意見をもらうというアンケートを行う予定であった。しかし、平面計画が 2 案ある段階で示すと、複雑になり意見が分散してしまう可能性があったため、平面計画を一つの方向性で進めることが決まった段階で、児童と教職員に対してアンケートを実施したいと考えている。

○委員

承知した。

<閉会>